

2023 年度「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」
自己点検・評価報告書

常磐大学 総合講座自己点検・評価実施委員会

1. はじめに

2022 年度からスタートした「常磐大学 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」(以下、プログラム)は1年間の実績を経て、2023年に文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」へ認可申請を行い、認可された。2023年度の実施は本学のプログラムとしては2年目、認可されたプログラムとしては1年目である。

2. 修了状況

2023年度のプログラムの修了状況は以下のとおりである(2024年3月31日時点で在籍している1年生を対象、再履修者は除く)。

	学部	学科	対象	修了	修了率	未修了			
						総数			
						情報未修得 統計修得	情報修得 統計未修得	情報未修得 統計未修得	
		心理	106	99	93.4%	7	4	0	3
		教育	70	66	94.3%	4	3	0	1
		現代社会	97	80	82.5%	17	0	10	7
		コミュニケーション	59	45	76.3%	14	3	7	4
		健康栄養	63	58	92.1%	5	2	1	2
	人間科学部		395	348	88.1%	47	12	18	17
		経営	90	76	84.4%	14	3	9	2
		法律行政	67	61	91.0%	6	0	4	2
		総合政策	83	74	89.2%	9	1	4	4
	総合政策学部		240	211	87.9%	29	4	17	8
		看護	85	85	100.0%	0	0	0	0
	看護学部		85	85	100.0%	0	0	0	0
大学全体			720	644	89.4%	76	16	35	25

人間科学部および総合政策学部については、修了率が90%に届かなかった。看護学部については1年生全員が修了した。未修了の状況をみると、「情報の処理 I」を単位修得できなかった1年生は、人間科学部で29名(7.3%)、総合政策学部で12名(5.0%)であった。また、「統計の基礎」を単位修得できなかった1年生は、人間科学部で35名(8.9%)、総合政策学部で25名(10.4%)であった。

3. 2023 年度実績報告

プログラムの要件科目である「情報の処理 I」「情報の処理」については、全学情報教育委員会に設置されている「情報教育の授業運営に関する WG」での点検を踏まえ、講義的な内容から実践的な内容に変更し授業回を増やした。具体的には、統計データをインターネットより取得し、表計算ソフトを使用してデータの分析を行う演習を導入した。また、成績評価の方法については、プログラム内容の知識と理解を確認するための小テストと、データの取得・加工・分析が行えるかどうかの演習課題を採用した。

(参考) 2023 年度と 2022 年度の授業計画 (プログラムに関する授業回を抜粋) の対照表

2023 年度	2022 年度
社会におけるデータ・AI 利活用 (1) 社会に起きている変化 社会で活用されているデータ データ・AI 利活用のための技術	インターネットと情報モラル 情報モラルとセキュリティ データ・AI 利活用における留意事項
社会におけるデータ・AI 利活用 (2) データ・AI の活用領域 データ・AI 利活用の現場 データ・AI 利活用の最新動向	社会におけるデータ・AI 利活用 (1) 社会に起きている変化 社会で活用されているデータ データ・AI の活用領域
データ・AI 利活用における留意事項 データ・AI を扱う上での留意事項 データを守る上での留意事項 インターネットによる情報収集	社会におけるデータ・AI 利活用 (2) データ・AI 利活用のための技術 データ・AI 利活用の現場 データ・AI 利活用の最新動向
データリテラシー (1) 表計算ソフトの基本知識と操作	データリテラシー (1) データを読む
データリテラシー (2) データを読む 表の作成	データリテラシー (2) データを説明する
データリテラシー (3) データを扱う 数式と関数の利用	
データリテラシー (4) データを説明する グラフの作成	

「統計の基礎」については、PC 教室ではなく一般教室で授業を実施しているため、e ラーニングの環境が割り当てられている教室の Wi-Fi 状況に左右され、以下の事象があった。

- ・通常授業の時点で Wi-Fi の接続状況が悪く、資料のダウンロードができない。
- ・期末試験で Wi-Fi に接続することができず、追試験に回った学生がいる。

4. 2024 年度に向けて

修了率については 2024 年度も注視し、傾向の把握に努める。「統計の基礎」については、一般教室での講義形式の授業であるが、Wi-Fi 状況を見据えながら表計算ソフトを使用した授業内容を検討する。

以上